

広葉樹の一枚板のテーブル

『山桜と楠とか展』

やまざくら

くす

2020年9月5日(土)〜27日(日)

会期中のお休みは9月8日(火)9日(水)15日(火)16日(水)23日(水)です
同時2組限定・予約制

僕はときどき早朝の誰もいない松葉屋の中で、
一枚板を撫でながら語りかけています。
側から見ていると、「何しているんだろう？」って思うかもしれない。
気まぐれに一枚板が語りかけてくることもある。
そんなひとときから浮かんできたいいろいろなこと。

居ごこち

そばに近づいてみる。
おまえから遠ざかって覗いてみる。
落ち着き、心が許せる。離れがたい場所。
呼吸が深くゆったりと、心拍数が同調して
一体になったような居ごこち。

集まる

いつもは離れ離れでも。集合、解散。
集まったり離れたり。何十年たってもあの
時が思い出される場所。
なぜだろう？
おまえについた傷ひとつシミひとつが
タイムカプセルを掘り出すように
あれこれ思い出されて。

心を映す

杣を見る。磨き上げた木をみる。
あるところは澄み切ってわかまきも曇りが無い清流のような静かな流れ。
あるところは深い渓谷。そして濁流は増水して山々も押し流す。
でもおまえに意図はない。
見る人の、僕の心をただ写してるだけなんだね。

居場所

雑用に追われて、自分を失いそうになる日々の暮らしも、
日常から離れて安らぎを持つ一瞬も、これもあれも
受け入れてくれる。自分たちだけの居場所なんだと思う。

広葉樹の一枚板のテーブル

『山桜と楠とか展』

2020年9月5日(土)～27日(日)

会期中のお休みは9月8日(火)9日(水)15日(火)16日(水)23日(水)です。

同時公開

9月3日より27日まで「おうちで一枚板テーブルのある暮らし展 Web」を
期間限定で公開します。松葉屋に展示中の一枚板をすべてご覧いただけます。



<https://matubaya-kagu.com/catalog/>

枠に収まりきらない

四角ではない。まん丸ではない。もちろん三角でもない。
曲がったりのびたり、縮んだり、言葉にできない。
どこにも属さない。おまえは枠に収まる気もない。

磨き上げる

古い木造校舎を思いうかべてみる。
床が何年も何十年も雑巾で拭き上げて
角が取れ、擦れてなめらかになっている。
黒々と底光りする磨き上げられた木の床。
家具職人の手技は素早いが慎重に、
気持ちを込めておまえを磨き上げる。
植物の油が導管に沁み入り、
湿度湿度や呼吸を保つ。

まん中

真ん中、中心地、重心点、言いようはちがうが、そこがおへそだってこと。
この一枚板テーブルがあるところが家族の真ん中、家の真ん中だということ。
なぜか人が集まる。知らず知らずのうちに。

時を部屋に置く

時間は重なるもの。0.1mmでも欠けることは無い。
ただただ積み重なるもの。
樹齢200年の一枚板。
時間が部屋に滲み出ていくのを感じる。

そそる

おまえを手で撫でてみる。
平坦な肌触り。指先に感じるすべらかで、柔らかく、
なのにひんやりとした硬質感。
導管の微細な突起が指先を優しく刺激する。
気持ちが溢れ出る。感情が高ぶる。

同時2組限定・予約制で開催します。
予約方法は別紙をご覧ください。

松葉屋家具店＋くらし道具学研究所
〒380-0841 長野市大門町 45 ☎0120-55-2346
e-mail: since1833@matubaya-kagu.com
松葉屋ホームページ <http://www.matubaya-kagu.com>
フェイスブックページ <https://www.facebook.com/matubaya>

